

8ポート 10/100Mbps タップ型イーサネットスイッチ  
**ES108MTP**  
ユーザマニュアル

この度は、お買い上げいただきましてありがとうございます。  
本ユーザマニュアルでは、8ポート 10/100Mbps タップ型イーサネットスイッチ ES108MTP について説明いたします。

このユーザマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品を使う前の必要な準備について説明しています。  
まず、この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をご使用ください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**製品を安全にお使いいただくため、必ず最初にお読みください。**

**警告** 安全のために、必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る  
注意事項をよくお読みください。  
製品全般の注意事項が記載されています。
- 故障したら使わない  
すぐに販売店まで修理をご依頼ください。
- 万一異常が起きたら  
・煙が出たら  
・異常な音、においがしたら  
・内部に水・異物が入ったら  
・製品を高所から落としたり、破損したとき

① 電源を切る(電源コードを抜く)  
② 接続ケーブルを抜く  
③ 販売店に修理を依頼する

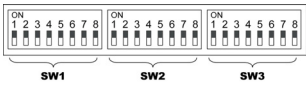
**警告** (火災/感電) 下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

- 電源ケーブルや接続ケーブルを傷つけない  
・電源ケーブルを傷つけると火災や感電の原因となります。  
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。  
・加工したり、傷つけたりしない。  
・熱器具の近くに配線したり、加熱したりしない。  
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 内部に水や異物を入れない  
火災や感電の原因となります。  
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り(電源ケーブルを抜き)、販売店に点検・修理をご依頼ください。
- 内部をむやみに開けない  
本体及び付属の機器(ケーブル含む)をむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
- 落雷が発生したらさわらない  
感電の原因となります。  
また、落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルや接続ケーブルを事前に抜いてください。本機が破壊される原因となります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない  
本書に記載されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

**注意** 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与える原因となります。

- ぬれた手で電源プラグやコネクタに触らない  
感電の原因となります。
- 指定された電源コードや接続ケーブルを使う  
マニュアルに記載されている電源ケーブルや接続ケーブルを使わないと、火災や感電の原因となります。
- 指定の電圧を使う  
マニュアルに記載されている電圧の範囲で使わないと、火災や感電の原因となります。
- コンセントや配線器具の定格を超えるような接続はしない  
発熱による火災の原因となります。
- 通風孔をふさがない  
通風孔をふさいでしまうと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。また、風通しをよくするために次の事項をお守りください。  
・毛足の長いジュウタンなどの上には直接設置しない。  
・布などでくもまない。
- 移動させるときは、電源ケーブルや接続ケーブルを抜く  
接続したまま移動させると、電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

② モード切替スイッチ(製品全面右上部の小カバーを横にスライドさせて、カバーを取り外して設定してください)



Dip SW1 (オートネゴシエーション機能の設定)	オートネゴシエーション機能を設定する場合は「On」、固定にて設定する場合は「Off」に設定します(デフォルト設定では「On」)。  <b>注意</b> このSW1が「On」の場合、以下のDip SW2、Dip SW3の設定は無効となります。
Dip SW2 (通信速度の設定)	10M にて通信を行う場合は「Off」、100M にて通信を行う場合は「On」に設定します(デフォルト設定では「On」)。
Dip SW3 (Full/Half Duplex の設定)	Half Duplex に設定する場合は「Off」、Full Duplex に設定する場合は「On」に設定します(デフォルト設定では「On」)。

**注意** ポートのモード切替は、製品の電源を切って(電源コードを抜いて)から行って下さい。

- ③ 壁掛け用フック  
付属の壁掛け用ネジを使って、本製品を壁面に固定します。
- ④ 電源コネクタ  
付属している電源ケーブルを使用してください。  
また、同梱されている電源コネクタホルダを使って、電源ケーブルを固定してください。  
接続方法については、4 ページ目の「電源コネクタホルダの取付け」を参照して下さい。
- ⑤ Power LED  
通常の通信 (OPERATION)モードと設定(CONFIG)モードの変更を行います。
- ⑥ 10BASE-T/100BASE-TX ポート  
10BASE-T/100BASE-TX の UTP ケーブルを接続するためのコネクタです。

**通信モード**  
本製品の通信モードは、対向製品の通信モードにあわせて設定して下さい。

対向製品	Auto*	本製品			
		Auto*	100M Full	100M Half	10M Full
Auto*	○	—	○	—	○
100M Full	—	○	—	—	—
100M Half	○	—	○	—	—
10M Full	—	—	—	○	—
10M Half	○	—	—	—	○

\*Auto Negotiation

**特長**

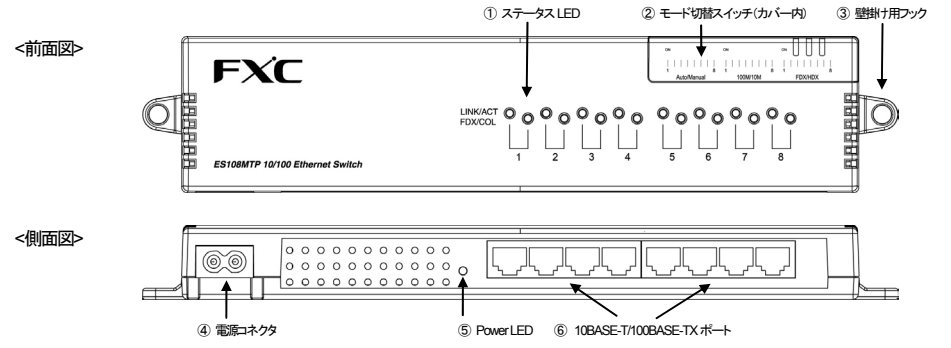
- オートネゴシエーション機能をサポート、また各ポート単位で通信速度(10/100M)、Duplex (Full/Half)の固定設定も可能
- IEEE802.3x(Full Duplex 時)とバックプレッシャ(Half Duplex 時)の各フローコントロール機能を搭載
- 全ポートに MDI/MDI-X 自動設定機能を搭載
- SOHO、デスクトップ環境に最適  
プラスチックボディ採用で軽量化を実現。また標準装備のマグネットでデスク、ラック等の金属面への設置や壁面取付け用ネジで壁面への設置が可能です。
- ファンレスのため、騒音のない静かな環境を提供

**付属品**

- この製品には本体の他に、以下の内容物が同梱されています。
- AC100V 用電源ケーブル x 1 本
  - 電源ケーブルホルダ x 1 個
  - 壁取付け用ネジ x 2 個
  - マニュアル x 1 冊
  - 保証書 x 1 枚

[MEMO]:製品の移送や修理ご依頼等の再梱包のため、梱装箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

**各部の名称と働き**



① ステータス LED  
各ポートの状態を示す LED ランプです。

名称	色	表示内容
LINK/ACT	緑	100Mbps でリンク確立時に点灯、送受信時に点滅します。
	橙	10Mbps でリンク確立時に点灯、送受信時に点滅します。
FDX/COL	橙	Full Duplex でリンク確立時に点灯、Half Duplex でコリジョン発生時には点滅します。

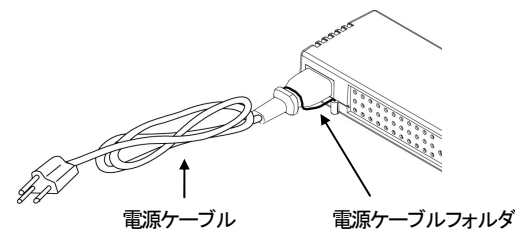
**本体の接続のしかた**

- 電源ケーブルを接続する  
AC コンセントに電源ケーブルを挿し込みます。  
電源ケーブルの一端を本機の電源コネクタに挿し込みます。  
**注意** 不適切な電源ケーブルを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがありますので、必ず同梱されている AC100V 用電源ケーブルをお使いください。
- ネットワーク (UTP) ケーブルを接続する  
ご使用になるケーブルについては、以下を参考にして下さい。

規格	ケーブル
10BASE-T	100m 以内の UTP カテゴリ 3 以上
100BASE-TX	100m 以内の UTP カテゴリ 5 以上

**設置方法**

- 本製品の側面にある壁掛け用フックや、本体底面にある設置用マグネットを使用して、オフィスの壁やデスクサイド、スチール製パーティションに直接設置できます。
- マグネットによる取り付け  
本体底面にあるマグネットを使用すると、簡単に本製品を金属面へ取り付けることができます。  
**注意** 標準装備のマグネットは、鉄製または鉄を布などで被っている壁面に設置してください。マグネットにフロッピーディスクなどの磁器製品を近づけないで下さい。データを損失する恐れがあります。
  - マグネットによる取り付け  
付属の壁掛け用ネジを使って、壁などの垂直な面に取り付けることができます。  
**注意** 本体と UTP ケーブルを合わせると、最大 3kg 程の重量が加わりますので、取付けの際はしっかりした壁に行ってください。
  - 電源ケーブルホルダの取付方法  
次の図のように、同梱されている電源コネクタホルダを使って、電源ケーブルが抜けにくいようしっかり固定してください。



**警告** 次のような環境での使用はしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- ・直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置しないでください
- ・振動の激しい場所や傾いた台の上など、不安定な場所に設置しないでください
- ・通風孔をふさいでしまうような場所に設置しないでください
- ・テレビ、ラジオ、コードレス電話機などのそばに設置しないでください
- ・急激な温度変化のある場所に設置しないでください
- ・湿度の多い場所や、水などの液体がかかる恐れのある場所に設置しないでください
- ・ほこりの多い場所や、静電気障害の原因となるジュウタン床に設置しないでください
- ・腐食性ガスが発生するような場所に設置しないでください

**■ ご使用にあたってのお願い****静電気注意**

内部には静電気に敏感な電子部品を使用しています。  
静電気を帯びた手でコネクタの接点部に直接触れると故障(静電破壊)の原因となります。

**■ トラブルシューティング**

ネットワークに接続できない場合は、まず次の内容を確認してください。

- 電源を「ON」にしても、PWR が点灯しない。
  - 電源ケーブルが外れていませんか？  
電源ケーブルが AC コンセントに正しく接続されていることを確認してください。
  - 指定された電源電圧で使用していますか？  
本製品は、AC100V-240V、50/60Hz で動作します。  
AC100V でご使用の場合は、必ず同梱の電源コードを使用して下さい。
- ネットワークケーブルを接続しても、LINK/ACT LED が点灯しない。
  - 接続先の機器に電源が入っていますか？ また、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
  - ネットワークケーブルが断線していませんか？  
正常に通信が行えている他のケーブルと交換して、再度確認を行ってください。
  - 接続先のネットワーク機器の通信モードを確認してください。  
接続先の機器の通信モードにあわせて本製品の通信モードの設定を行ってください。
- データの転送が不規則で安定していない
  - ネットワークを再構築した場合、MAC アドレスの情報を再構築する必要があります。  
電源ケーブルを AC コンセントから一度抜いて接続しなおし、MAC アドレスの情報を再構築します。

**■ 製品仕様**

標準規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3x	
データ転送速度	10/100Mbps(CSMA/CD)	
イーサネット ポート	10BASE-T/100BASE-TX	8 ポート(MDI/MDI-X 自動切替)
	Duplex Auto Negotiation	Full/Half 対応(ポート単位で通信速度、Full/Half の固定設定も可)
使用ケーブル	10BASE-T	UTP カテゴリ 3 以上
	100BASE-TX	UTP カテゴリ 5 以上
機能	スイッチングモード スルーブット	ストア&フォワード方式 100M⇔100M 148,800pps(64Byte) 10M⇔10M 14,880pps(64Byte)
	バッファ容量 MAC アドレス登録数 エージングタイム フローコントロール	96Kbyte/unit 1K 個(最大) 300 秒 Full Duplex IEEE802.3x Half Duplex バックプレッシャ
LED 表示	本体 ポート	PWR(緑) LINK/ACT(緑/橙)、FDX/COL(橙)
電源	定格入力電圧/周波数	AC100-240V、50/60Hz
	最大入力電流	0.1A
	最大消費電力	4.5W
	最大発熱量	3.9Kcal/h
環境条件	動作時温度/湿度	0°C~40°C/15%~95% ※結露なきこと
	保管時温度/湿度	-40°C~70°C/90%以下 ※結露なきこと
外形寸法	248 mm (W) x 58 mm (D) x 28 mm (H)	
重量	275g	
適合性	EMI 規格	VCCI クラス B
同梱物	AC100V 用電源ケーブル、電源ケーブルホルダ、壁取付用ネジ、マニュアル、保証書	

**■ 製品保証およびユーザーサポート**

製品の保証内容に関しては添付されている「保証書」、「保証規定」をよくお読みください。  
また、テクニカルサポートにつきましても、添付されている「テクニカルサポートのご案内」をお読みください。

- 本ユーザーマニュアルは、エスエムシーネットワークス株式会社が制作したもので、全ての権利を弊社が所有します。  
弊社に無断で本書の一部、または全部を複製転載することを禁じます。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
- ユーザーマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、  
弊社サポートセンターまでご相談ください。

<マニュアルバージョン>  
2004 年 11 月 初版